

## 理学部 小林明日香

私は今回水田記念奨学生として国際グローバル研修に参加し、約2週間ハンガリーで生活するという貴重な体験をさせていただきました。渡航前を含め多くの人と関わり、そして今回のテーマである「環境問題」に沿った様々な場所を訪れました。この体験の中で私は大きく分けて4つのことを学ぶことができました。

1つ目はハンガリーの方々の人柄についてです。ハンガリーでは誰もが最後の人が通るまで扉を押さえていてくれたり、ハンガリー人は沈黙が苦手らしくたくさん話しかけてくれたりといったハンガリー人の人柄に触れることができました。学生も先生方もとてもフレンドリーだったためすぐに打ち解けることができました。また地下鉄内ではスリが多かったりバスの中で電話したり飲食したりといった文化的な違いも感じることができました。日常生活ではあまり異文化の方と交流する機会がないため、ハンガリーの方々と関わり合うことで身をもって文化の違いを学ぶことができました。

2つ目はハンガリーの建物についてです。日本では木造建築が多くみられますがハンガリーでは石でできた建物が多くあり、ヨーロッパの街並みを体感しました。どこを見ても新鮮で、日本よりも高い建物が多い印象を受けました。また滞在中はハンガリーの学生に案内してもらい国会議事堂やブダ城などに行きました。国会議事堂の内装は華やかでとても綺麗でした。そしてブダ城もとても綺麗で、それに加えてそこから見渡せるドナウ川を含めたブダペストの景色が素敵でした。日本で生活している中では見ることのできないような世界観を感じる景色でした。



3つ目は食文化についてです。ハンガリーでは朝は基本パンが主食で毎日パンを食べていました。またパプリカが有名で朝食に出てくる目玉焼きにもパプリカパウダーがかけられていました。パプリカを使った料理としては伝統料理でグヤーシュというスープがあり、とてもおいしかったです。ハンガリーではトウガラシなどもまとめてパプリカと呼んでおり、辛いパプリカと辛くないパプリカという風に分けられていることを知りました。ほかのハンガリー料理ではラーンゴシュという揚げたピザのようなものを食べました。たくさんチーズが乗っておりとてもおいしかったです。ほかにも多くのハンガリー料理を食べることができ、海外の食文化に触れることができました。



4つ目はハンガリーの授業形態についてです。ハンガリー滞在中に大学の日本語授業に参加し、幼稚園・小学校の授業を見学する機会もありました。そこで感じたのは児童生徒が積極的に発言する機会が日本よりも多いことです。日本の学校教育ではいまだに座学が多く、また児童生徒の積極的な発言回数も少ないように思います。しかしハンガリーの授業では自ら動いて体験しながら学ぶという授業形態が多く、先生の話をしっかり聞きながらも生徒が自由に発言できる機会が多く設けられていると感じました。私は教職科目を履修しているため、今後の授業づくりにとても参考になりました。

この研修を通してこれまで述べたような文化の違いやハンガリー人の人柄に触れることができただけでなく、日常で英語を使うことへの恐怖心がなくなったように感じます。実際日本に帰ってきてすぐアルバイト先に日本語が話せない外国人の方が来店され、英語を話す機会がありました。この研修に参加したことによって英語を聞く力もとっさに話す力も少しですが上達し、難なく対応することができました。このように自分で感じられるような成長ができたのも、この研修に関わり尽力してくださった方々のおかげです。この貴重な体験から得られた学びや友情を忘れず、これからの生活に活かしていくとともに、本研修で様々な経験をさせてくださり支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。